

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社
 コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日

(氏名) 森 和昭
 (氏名) 高島 隆明

TEL 03-3524-0511

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,506		7		4		5	
21年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	89.88	
21年3月期第1四半期		

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	3,640	2,384	65.5	42,874.15
21年3月期				

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,384百万円 21年3月期 百万円

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については、記載しておりません。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期				2,000.00	2,000.00
22年3月期					
22年3月期(予想)				2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	3,120		150		150		80		1,431.07
通期	6,450		530		530		290		5,200.39

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	60,156株	21年3月期	60,156株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	4,529株	21年3月期	3,511株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	56,180株	21年3月期第1四半期	59,237株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成22年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間より連結決算に移行いたしましたので、平成21年5月14日の「平成21年3月期決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想を連結業績予想に変更いたしました。
- 2.当社は、当第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 3.上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日）における我が国経済は、昨年来からのサブプライムローンに端を発した金融市場の混乱や米国経済の減速等によって企業業績は大幅に減少しております。一方、輸出や生産等には底入れの兆しが見え始めたものの、景気はいまだ不安定で先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループが属するIT情報サービス業界では、ソフトウェア開発や情報処理・運営などアウトソーシングビジネスを中心に需要は継続しておりますが、ユーザからのコスト削減要求と被雇用社員の待遇改善などから人材派遣法の見直しが行なわれ始めるなど業績を低下させる不安要素が増大してきております。このような急激な経済環境の変化の中で当社グループは、従来のハードウェアの保守・アフタサービスの世界から脱却すべく、IT保守コスト外部監査事業及びセキュリティ・プロフェッショナル育成事業の2つ事業に着手いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,506,420千円となり、営業利益につきましては、新卒従業員の教育訓練期間の人件費計上等により7,819千円となりました。経常利益は営業外費用として事業所閉鎖損失2,650千円を計上したことにより、4,823千円となり、四半期純損失は法人税等調整額6,236千円の計上により5,049千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門において、取引先の新入社員向け研修等の新規業務の受託により受講者数の増加を図りました。

一方、ソフトウェア開発部門においては、半導体市場の急激な冷え込みにより依然、厳しい状況が続いております。またヘルプデスク・コールセンタ部門においては、海外メカからの業務一括取り込み等により受託量の拡大を図りましたが、当第1四半期連結会計期間においては、業務立ち上げに係る人件費及び外注費が増加し、利益には寄与しませんでした。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、628,426千円、営業利益は448千円となりました。

フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システム部門において営業サポート業務やITベンダのシステム増設等にもなうネットワーク工事受託量を図りました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器の保守、設置業務について、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、665,341千円、営業利益は101,955千円となりました。

ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、当社の受託しているメカからのサーバ出荷量が減少したことにもない、当社の業務受託量も減少しております。しかしながら、第2四半期連結会計期間以降につきましては、メカからの一括アウトソーシング業務を受託したことにより、今後売上高は増加する予定であります。リペアセンタ部門は、当第1四半期連結会計期間において、輸入機器の検査業務の拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、197,396千円、営業利益は42,837千円となりました。

その他の事業

国内子会社であるデータ・エントリー・ソリューション株式会社によるデータエントリー業務は、当初の予定通り堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、15,256千円、営業利益は538千円となりました。

（注）当第1四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の記載は行なっておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、3,640,333千円となりました。

流動資産につきましては、2,953,978千円となり、主な内訳は、現金及び預金1,622,799千円、受取手形及び売掛金1,079,028千円であります。

固定資産につきましては、686,355千円となり、主な内訳は、有形固定資産200,035千円、投資その他の資産472,364千円であります。

負債合計につきましては、1,255,373千円となりました。流動負債につきましては、750,932千円となり、主な内

訳は、買掛金176,597千円であります。純資産につきましては、2,384,960千円となり、主な内訳は、資本金795,475千円、資本準備金647,175千円、利益剰余金1,168,854千円、為替換算調整勘定(借方)4,142千円、自己株式222,401千円であります。

(注) 当第1四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の記載は行なっておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)1,621,430千円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果、得られた資金は、141,300千円でありました。これは、主として売上債権の減少132,702千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果、使用した資金は、11,221千円でありました。これは、主として有形固定資産の取得による支出11,552千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果、使用した資金は、172,338千円でありました。これは、配当金の支払い112,825千円及び自己株式の取得による支出59,513千円によるものであります。

(注) 当第1四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度の記載は行なっておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、売上高6,450,000千円、営業利益530,000千円、経常利益530,000千円、当期純利益290,000千円を見込んでおります。詳細につきましては、同日発表の「連結決算の開始及び業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間末
 (平成21年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,622,799
受取手形及び売掛金	1,079,028
仕掛品	3,381
原材料	48,731
その他	200,220
貸倒引当金	183
流動資産合計	2,953,978
固定資産	
有形固定資産	200,035
無形固定資産	13,955
投資その他の資産	
その他	473,391
貸倒引当金	1,027
投資その他の資産合計	472,364
固定資産合計	686,355
資産合計	3,640,333
負債の部	
流動負債	
買掛金	176,597
未払法人税等	7,538
賞与引当金	121,968
役員賞与引当金	5,835
その他	438,993
流動負債合計	750,932
固定負債	
退職給付引当金	406,315
その他	98,124
固定負債合計	504,440
負債合計	1,255,373
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,168,854
自己株式	222,401
株主資本合計	2,389,102
評価・換算差額等	
為替換算調整勘定	4,142
評価・換算差額等合計	4,142
純資産合計	2,384,960
負債純資産合計	3,640,333

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,506,420
売上原価	1,329,749
売上総利益	176,671
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	34,296
賞与引当金繰入額	5,918
役員賞与引当金繰入額	5,835
退職給付引当金繰入額	625
その他	122,175
販売費及び一般管理費合計	168,851
営業利益	7,819
営業外収益	
受取利息	94
債務整理益	113
その他	127
営業外収益合計	335
営業外費用	
事業所閉鎖損失	2,650
為替差損	371
その他	308
営業外費用合計	3,331
経常利益	4,823
税金等調整前四半期純利益	4,823
法人税、住民税及び事業税	3,636
法人税等調整額	6,236
法人税等合計	9,872
四半期純損失()	5,049

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,823
減価償却費	15,988
貸倒引当金の増減額(は減少)	25
賞与引当金の増減額(は減少)	93,212
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,096
役員賞与引当金の増減額(は減少)	16,165
受取利息	94
為替差損益(は益)	3,558
売上債権の増減額(は増加)	132,702
たな卸資産の増減額(は増加)	22,355
仕入債務の増減額(は減少)	23,740
前受金の増減額(は減少)	41,356
預り金の増減額(は減少)	60,280
その他	1,439
小計	144,247
利息の受取額	93
法人税等の支払額	3,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	11,552
その他	330
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	59,513
配当金の支払額	112,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,362
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	36,897
現金及び現金同等物の期首残高	1,658,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,621,430

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	ソフトウェア・ソリューション事業 (千円)	フィールド・ソリューション事業 (千円)	ハードウェア・ソリューション事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	628,426	665,341	197,396	15,256	1,506,420	-	1,506,420
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-
計	628,426	665,341	197,396	15,256	1,506,420	-	1,506,420
営業利益	448	101,955	42,837	538	145,780	(137,961)	7,819

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、当社グループのユーザに対しての技術サポートの種類、業務形態等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な事業内容(技術サポート)

事業区分	主な事業内容(技術サポート)
ソフトウェア・ソリューション事業	教育、ソフトウェア開発、ヘルプデスク・コールセンタ部門から構成されており、教育部門では、主に海外ITハイテク企業が新しいソフトウェア製品や新規システムを日本市場に投入する際、翻訳を含めた日本語の技術解説テキストの作成、ソフトウェア技術に関する様々なトレーニングを国内企業の技術者に対して行っております。ソフトウェア開発部門では、アプリケーションソフトウェアの開発支援や既存システムとのインターフェイス・プログラムの作成を行っております。ヘルプデスク・コールセンタ部門では、教育、ソフトウェア開発業務のアフターサービスとしてコールセンタによる電話問合せを行っております。また新規システム等のトラブル発生に対して、診断・解析を電話にて行い、利用技術者に対するテクニカルサポートを即座に提供するヘルプデスク業務を行っております。
フィールド・ソリューション事業	コンピュータ・システムサポート部門、IT応用システム・サポート部門から構成されており、コンピュータ・システムサポート部門では海外ITハイテク企業が販売した「サーバ」を中心としたネットワークシステム及びその周辺機器の多品種にわたるシステムに対して、フィールド・サポート(保守サービス)を行っております。IT応用システム・サポート部門は海外ハイテク企業が販売した「化学分析システム」「高度医療システム」「半導体システム」等の少量多品種製品のコンピュータ制御システムに対して、フィールド・サポート(保守サービス)を行っております。
ハードウェア・ソリューション事業	インテグレーション・サポート部門、リペアセンタ部門から構成されており、インテグレーション・システムサポート部門では、海外ITハイテク企業の日本工場において、コンピュータへのシステム組み込み、ソフトウェアの海外ITシステムの技術的ローカライズ作業を受託しております。リペアセンタ部門では、納入後のシステムの不具合原因の障害解析、検証並びに国内での修理を行っております。
その他の事業	データエントリー業務他を行っております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表等

(注)当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成しておりませんが、参考までに提出会社における(要約)貸借対照表、(要約)四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1)(要約)貸借対照表

前事業年度末(平成21年3月31日)

科目	前事業年度末 (平成21年3月31日)
	金額(千円)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,596,972
受取手形及び売掛金	1,197,399
原材料	49,209
仕掛品	25,259
その他	228,595
貸倒引当金	209
流動資産合計	3,097,227
固定資産	
有形固定資産	201,152
無形固定資産	14,591
投資その他の資産	
その他	563,867
貸倒引当金	1,027
投資その他の資産合計	562,840
固定資産合計	778,584
資産合計	3,875,812
負債の部	
流動負債	
買掛金	214,778
未払法人税等	9,843
賞与引当金	215,180
役員賞与引当金	22,000
その他	326,901
流動負債合計	788,703
固定負債	
退職給付引当金	398,712
その他	99,572
固定負債合計	498,285
負債合計	1,286,988
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,309,062
自己株式	162,888
株主資本合計	2,588,823
純資産合計	2,588,823
負債純資産合計	3,875,812

(2)(要約)四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成20年4月1日~平成20年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
売上高	1,399,041
売上原価	1,239,204
売上総利益	159,836
販売費及び一般管理費	170,245
営業損失()	10,409
営業外収益	69,443
営業外費用	147
経常利益	58,886
税金等調整前 四半期純利益	58,886
税金費用	30,471
四半期純利益	28,415

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(平成20年4月1日~平成20年6月30日)

	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	58,886
減価償却費	8,937
貸倒引当金の増減額(減少:)	50
賞与引当金の増減額(減少:)	80,792
退職給付引当金の増減額(減少:)	8,203
役員賞与引当金の増減額(減少:)	17,250
受取利息	2,548
為替差損益(差益:)	62,831
売上債権の増減額(増加:)	14,538
たな卸資産の増減額(増加:)	31,788
仕入債務の増減額(減少:)	62,977
前受金の増減額(減少:)	33,579
預り金の増減額(減少:)	53,472
その他	19,777
小計	26,240
利息の受取額	1,961
法人税等の支払額	130,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	4,058
その他	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	86,068
自己株式の取得による支出	13,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	62,497
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	196,144
現金及び現金同等物の期首残高	1,930,356
現金及び現金同等物の期末残高	1,734,212